

# 財政福祉委員会

## 説明資料

平成27年3月5日

健康福祉局

# 目 次

|    |                                     | 頁  |
|----|-------------------------------------|----|
| 1  | 附属機関の委員数及び年間開催回数                    | 1  |
| 2  | バリアフリー化未実施駅の1日当たり乗降客数と今後の整備の考え方     | 2  |
| 3  | 障害者差別解消法施行に向けた対応                    | 3  |
| 4  | 障害者（児）を対象とした主な福祉施策                  | 4  |
| 5  | 総合リハビリテーションセンターの運営費用の推移             | 5  |
| 6  | 総合リハビリテーションセンターにおけるボツリヌス療法の概要       | 6  |
| 7  | なごや福祉用具プラザの予算内訳及び事業成果               | 7  |
| 8  | 名古屋市総合リハビリテーション事業団への委託事業一覧          | 8  |
| 9  | 敬老パスのICカード化にかかる費用負担                 | 9  |
| 10 | 敬老パスのあり方検討にかかる市民意見交換会の内容            | 10 |
| 11 | 名古屋市鯉城学園における学科教授廃止後の運営体制            | 11 |
| 12 | 名古屋市鯉城学園「学務主任（コーディネーター）」募集における受験資格  | 12 |
| 13 | 医療対応型特別養護老人ホームとハイレベル特別養護老人ホームの比較    | 13 |
| 14 | 中学生の学習サポートモデル事業の経費                  | 15 |
| 15 | 仕事・暮らし自立サポートセンター事業実績                | 17 |
| 16 | 生活困窮者の自立支援にかかる予算額の内訳                | 18 |
| 17 | 生活保護扶助費予算の推移及び保護基準額の見直し             | 19 |
| 18 | 保健環境委員の予算                           | 20 |
| 19 | 裁判外紛争解決手続（ADR）における争点及び今後の流れ         | 21 |
| 20 | 裁判外紛争解決手続（ADR）における和解案提示後の流れ         | 22 |
| 21 | 高齢者肺炎球菌予防接種の他都市比較                   | 23 |
| 22 | なごやかキャットサポーター数の推移と猫の保護頭数、殺処分頭数、譲渡頭数 | 25 |
| 23 | 国民健康保険1人当たり平均保険料における増減額の内訳          | 26 |
| 24 | 国民健康保険1人当たり平均保険料の他都市比較の推移           | 27 |

|   | 頁  |
|---|----|
| 25 収入階層別国民健康保険料の推移                        | 28 |
| 26 国民健康保険保険者支援制度の拡充に伴う一般会計繰入金の影響          | 29 |
| 27 国民健康保険料の法定減額の改正                        | 30 |
| 28 国民健康保険料の法定減額及び減免（特別軽減）にかかる適用件数の推移      | 31 |
| 29 国民健康保険料の減免（特別軽減）対象者への案内チラシの案           | 32 |
| 30 国民健康保険料の減免にかかる規定                       | 33 |
| 31 国民健康保険平均保険料の区別の推移                      | 34 |
| 32 国民健康保険料滞納世帯数の区別の推移                     | 35 |
| 33 国民健康保険短期被保険者証の交付件数の区別の推移               | 36 |
| 34 国民健康保険資格証明書の交付件数の区別の推移                 | 37 |
| 35 国民健康保険料滞納による差押件数の区別の推移                 | 38 |
| 36 国民健康保険における主な医療費適正化事業の実績                | 39 |
| 37 介護保険料段階別月額と比較                          | 40 |
| 38 第6期介護保険料基準月額の他都市比較                     | 41 |
| 39 第6期介護保険料の算定内訳                          | 42 |
| 40 国からの第6期介護保険料の設定にあたっての留意事項に関する事務連絡（抜すい） | 43 |
| 41 地方自治法第245条及び第245条の3（抜すい）               | 44 |
| 42 保険給付費等の算定にかかる報酬改定等の影響                  | 45 |
| 43 国の介護保険制度改正による利用者への主な影響                 | 46 |
| 44 介護職員に対するこれまでの主な処遇改善の経緯                 | 47 |
| 45 介護職員の給与水準の推移                           | 48 |
| 46 ナゴヤ版介護予防複合プログラム導入準備の概要                 | 49 |
| 47 地域力の再生による生活支援推進事業の実施状況と今後の展開           | 51 |
| 48 各実施主体における生活支援の主な取り組み内容                 | 52 |

# 1 附属機関の委員数及び年間開催回数

## (1) 既存の附属機関

| 区 分                  | 委員数           | 25年度<br>開催回数 |       |
|----------------------|---------------|--------------|-------|
|                      |               | 本会           | 部会等   |
|                      | 人             | 回            | 回     |
| 名古屋市社会福祉審議会          | 33            | 3            | 11    |
| 名古屋市民生委員推薦会          | 12            | 3            | -     |
| 名古屋市介護認定審査会          | 624           | 1            | 2,559 |
| 名古屋市精神保健福祉審議会        | 19            | 1            | -     |
| 名古屋市精神医療審査会          | 20            | 32           | -     |
| 名古屋市障害者施策推進協議会       | 20            | 3            | 8     |
| 名古屋市障害者スポーツセンター運営審議会 | 22            | 2            | -     |
| 名古屋市障害支援区分認定等審査会     | 135           | 1            | 232   |
| 名古屋市国民健康保険運営協議会      | 21            | 2            | -     |
| 名古屋市感染症診査協議会         | 30            | 1            | 99    |
| 名古屋市感染症予防協議会         | 22            | 1            | -     |
| 保健所運営協議会             | 340<br>(16区計) | 16<br>(各区1)  | -     |
| 名古屋市食の安全・安心推進会議      | 19            | 2            | -     |

注：委員数は平成25年度末時点

## (2) 新設の附属機関

| 区 分                            | 委員数 | 25年度<br>開催回数 |     |
|--------------------------------|-----|--------------|-----|
|                                |     | 本会           | 部会等 |
|                                | 人   | 回            | 回   |
| 名古屋市高齢者施策推進協議会                 | 25  | 2            | 2   |
| 名古屋市地域密着型サービス及び地域包括支援センター運営協議会 | 19  | 5            | -   |
| 名古屋市福祉有償運送運営協議会                | 17  | 2            | -   |
| 名古屋市透析療法審査委員会                  | 6   | 12           | -   |
| 名古屋市予防接種健康被害調査委員会              | 8   | -            | -   |
| 名古屋市衛生研究所等疫学倫理審査委員会            | 5   | -            | -   |

注1：平成25年度は附属機関に類する機関として開催

注2：委員数は平成25年度末時点

## 2 バリアフリー化未実施駅の1日当たり乗降客数と今後の整備の考え方

### (1) 乗降客数

#### ア 立体交差事業の予定のない駅

(単位：人)

| 事業者       | 駅名   | 乗降客数  |
|-----------|------|-------|
| 名古屋鉄道(株)  | 豊田本町 | 4,300 |
| 近畿日本鉄道(株) | 戸田   | 3,700 |
| 名古屋鉄道(株)  | 東大手  | 3,600 |
|           | 尼ヶ坂  | 3,200 |

注1：豊田本町駅は平成26年度に整備

注2：東大手駅は平成27年度～28年度の2か年の事業で整備予定

#### イ 立体交差事業の予定のある駅

(単位：人)

| 事業者      | 駅名  | 乗降客数  |
|----------|-----|-------|
| 名古屋鉄道(株) | 本笠寺 | 4,500 |
|          | 本星崎 | 3,600 |
|          | 桜   | 3,100 |

### (2) 今後の整備の考え方

立体交差事業の予定のない駅のバリアフリー化を優先していくが、立体交差事業の予定のある駅についても、立体交差事業の進捗状況により検討する。

### 3 障害者差別解消法施行に向けた対応

#### (1) 今後のスケジュール

| 区 分            |       | 対応要領の策定           | 相談体制の整備           | 広報・啓発           |
|----------------|-------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 平成<br>27<br>年度 | 第1四半期 | 障害当事者からの<br>意見聴取等 | 障害当事者からの<br>意見聴取等 |                 |
|                | 第2四半期 | 対応要領の策定           | 相談体制等の検討          | 講演会の開催          |
|                | 第3四半期 | 職員研修の実施           |                   |                 |
|                | 第4四半期 |                   |                   | 広報なごや特集号<br>の発行 |
| 平成28年4月        |       | 障害者差別解消法施行        |                   |                 |

#### (2) 対応要領の記載事項

- ・趣旨
- ・障害を理由とする不当な差別的取扱い及び合理的配慮の基本的考え方
- ・障害を理由とする不当な差別的取扱い及び合理的配慮の具体例
- ・相談体制の整備
- ・職員への研修・啓発

#### (3) 相談体制の概要

- ・障害者及びその家族その他の関係者からの相談等に的確に応じること
- ・障害者の性別、年齢、状態等に配慮すること
- ・新たな機関は設置せず、既存の機関等の活用・充実を図ること
- ・相談や紛争解決などに対応する職員の業務の明確化・専門性の向上などを図ること

#### 4 障害者（児）を対象とした主な福祉施策

| 区 分              | 事 業 内 容   |
|------------------|---|
| 障害福祉サービス         | 居宅介護（ホームヘルプ）や短期入所、就労移行支援、就労継続支援等のサービスを提供            |
| 自立支援医療           | 心身の障害を軽減・除去するための医療について、医療費の自己負担額を軽減                 |
| 補装具費の支給          | 補装具（義肢・装具・車いす等）の購入又は修理が必要と認められた方に、その費用の一部を補装具費として支給 |
| 日常生活用具の給付        | 障害者（児）の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具を給付                       |
| 障害者基幹相談支援センターの利用 | すべての障害を対象とする地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務等を実施               |
| 障害者医療費の助成        | 病院等を受診した際の医療費（保険診療分）の自己負担額を助成                       |
| 福祉特別乗車券の交付       | 市営交通機関、ゆとりーとライン及びあおなみ線の全区间を無料乗車できる福祉特別乗車券を交付        |
| タクシー料金の助成        | 公共交通機関を利用することが困難な方がタクシーを利用する場合に、タクシー料金を助成           |
| 福祉向け市営住宅の入居斡旋    | 年2回、障害者等を対象に市営住宅の入居者募集を行い抽選により入居を斡旋                 |
| 自立支援配食サービス       | 配食が必要と認められた方に対して、昼食又は夕食の1食を配達するとともに、利用者の安否を確認       |

## 5 総合リハビリテーションセンターの運営費用の推移

(単位：千円)

| 区 分                          |     | 26年度      | 27年度      |
|------------------------------|-----|-----------|-----------|
| 委 託 料                        |     | 2,877,207 | 3,008,589 |
| 附 属 病 院                      | 人件費 | 1,222,962 | 1,249,516 |
|                              | 物件費 | 803,281   | 906,995   |
|                              | 小 計 | 2,026,243 | 2,156,511 |
| 介 護 保 険 ス                    | 人件費 | 67,428    | 83,983    |
|                              | 物件費 | 73,208    | 32,591    |
|                              | 小 計 | 140,636   | 116,574   |
| 障 害 者 支 援 施 設                | 人件費 | 310,648   | 293,193   |
|                              | 物件費 | 166,118   | 171,614   |
|                              | 小 計 | 476,766   | 464,807   |
| 補 装 具 製 作 施 設                | 人件費 | 17,150    | 17,813    |
|                              | 物件費 | 3,573     | 3,385     |
|                              | 小 計 | 20,723    | 21,198    |
| 身 体 障 害 者 福 祉<br>セ ン タ ー     | 人件費 | 115,570   | 125,076   |
|                              | 物件費 | 56,586    | 85,924    |
|                              | 小 計 | 172,156   | 211,000   |
| 補 助 犬 の<br>認 定 ・ 相 談         | 人件費 | 0         | 0         |
|                              | 物件費 | 516       | 516       |
|                              | 小 計 | 516       | 516       |
| 地 域 リ ハ ビ リ<br>テ ー シ ョ ン 事 業 | 人件費 | 29,598    | 28,205    |
|                              | 物件費 | 10,569    | 9,778     |
|                              | 小 計 | 40,167    | 37,983    |
| 使 用 料 及 び 賃 借 料              |     | 3,876     | 0         |
| 計                            |     | 2,881,083 | 3,008,589 |

注：社会福祉施設費に計上したものを記載。ただし、平成26年度の「補助犬の認定・相談」「地域リハビリテーション事業」は、障害者福祉費に計上したものを記載



## 6 総合リハビリテーションセンターにおけるボツリヌス療法の概要

### (1) ボツリヌス療法の概要

脳卒中や頭部外傷等により筋肉が緊張し、手足が動かしにくいなどの症状がある患者に対して、ボツリヌストキシンを有効成分とする薬（骨格筋弛緩剤）を注射することにより、筋肉の緊張を和らげ、効果的なりハビリテーションを実施するもの

### (2) 平成27年度におけるボツリヌス療法に係る増加費用等

(単位：千円)

| 区 分                     | 金 額    |
|-------------------------|--------|
| 医薬品材料費の増額<br>(指定管理料の増額) | 60,000 |
| 診療収入の増額<br>(本市歳入の増額)    | 65,789 |

## 7 なごや福祉用具プラザの予算内訳及び事業成果

### (1) 予算内訳

(単位：千円)

| 区 分         |                       | 金 額     |
|-------------|-----------------------|---------|
| 委<br>託<br>料 | 福 祉 用 具 プ ラ ザ 事 業     | 113,780 |
|             | 人 件 費                 | 32,782  |
|             | 物 件 費                 | 80,998  |
|             | 家 族 介 護 者 教 室 事 業     | 13,655  |
|             | 高 齢 者 住 宅 改 修 相 談 事 業 | 6,204   |
| 計           |                       | 133,639 |

### (2) 事業成果

- ・ 1,100点以上の福祉用具の展示や相談、修理・改造から、住宅改造の相談、介護技術の普及、障害者のITサポートなどを通して、障害者や高齢者の生活の質の向上や、介護者の負担軽減に寄与
- ・ 公益財団法人テクノエイド協会から事業委託を受け、福祉用具プラザの職員と総合リハビリテーションセンターの職員が協働で、介護ロボットの展示会の開催や介護ロボットの介護施設における導入評価を実施し、介護ロボットの普及や開発に寄与

## 8 名古屋市総合リハビリテーション事業団への委託事業一覧

| 区 分                                      | 事 業 内 容  |
|--|--|
| なごや福祉用具<br>プラザ事業                         | 障害者等の自立を支援するとともに、介護者の負担を軽減するため、福祉用具の展示等を実施し、福祉用具及び介護知識・技術の普及を推進                        |
| 家族介護者教室事業                                | 介護技術の向上を図るとともに、介護者どうしの交流等を通じて心身の疲労の軽減を図るため、要介護高齢者等の介護者を対象とした介護者教室を開催                   |
| 高齢者住宅改修<br>相談事業                          | 要介護状態にある高齢者等のいる家庭で、高齢者向けに居室等の改良を希望する者に対して、住宅改修に関する相談、助言を実施                             |
| 西部リハビリテー<br>ションセンター<br>運営事業              | 急性期治療や機能回復訓練を終えた障害者等を対象に、身体機能の維持・回復及び社会復帰のためのリハビリテーションを実施                              |
| 障害者基幹相談<br>支援センター<br>運営事業                | すべての障害を対象とする地域の相談支援の拠点として、総合的な相談業務等を実施   |
| 障害者自立支援<br>配食サービス事業                      | 居宅の障害者に対して、食の自立の観点から調査及び評価を行い、サービス利用の調整を実施   |
| 障害者賃貸住宅<br>入居等サポート事業                     | 賃貸住宅への入居を希望する障害者に対し、入居に必要な調整等の支援を実施  |
| 身体障害者施設入所<br>判定業務における<br>X線等検査業務         | 障害者支援施設（旧身体障害者療護施設）の入所判定時に、健康診断として血液検査・尿検査・X線・心電図の検査を実施                                |
| 障害者スポーツ<br>センターの運営<br>（指定管理）             | 障害者に関する各種相談に応じるとともに、スポーツやレクリエーション等を通じて障害者の健康増進を図るため、障害者スポーツセンターを運営                     |
| 視覚障害者用地下鉄<br>アクセスガイドの<br>企画・作成・配布等<br>業務 | 視覚障害のある市営交通機関利用者に対する、地下鉄駅構内案内図及び市バスのりば案内図のユニバーサルな情報提供の一環として、地下鉄駅・バスターミナルのアクセスガイドを製作し配布 |

## 9 敬老パスのICカード化にかかる費用負担

(単位：億円)

| 区 分          | 健康福祉局  |                | (参考) 交通局   |                |
|--------------|--|----------------|--|----------------|
|              | 主な内容   | 初期費用<br>(運用経費) | 主な内容   | 初期費用<br>(運用経費) |
| カ ー ド 発 行    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再発行カード作成</li> <li>・カード封入・郵送</li> </ul>                             | 2. 0<br>(0. 5) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規カード作成</li> <li>・カード情報入力</li> </ul> | 2. 0<br>(0. 1) |
| 期限更新<br>機器関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・16区・6支所への設置</li> <li>・85駅の定期券発行機及び自動券売機の改修(一部負担金収納等)</li> </ul>    | 2. 3<br>(0. 1) | —  | —              |
| システム<br>関 係  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉総合情報システム改修</li> <li>・交通局システム改修<br/>(対象者情報連携<br/>実態把握)</li> </ul> | 1. 9<br>(0. 5) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局システム改修(請求)</li> </ul>             | 1. 0<br>(0. 1) |
|              | 計  | 6. 2<br>(1. 1) | 計  | 3. 0<br>(0. 2) |

注：初期経費は、平成29年度までの現時点での見通し

10 敬老パスのあり方検討にかかる市民意見交換会の内容

| 区 分 | 概 要   |
|-----|---|
| 趣 旨 | 持続可能な敬老パス制度に向けて、制度の概要及び課題を市民に説明し、意見聴取を行う  |
| 場 所 | 16区6支所（各1回）   |
| 時 期 | 平成27年10月から平成28年3月まで   |
| 内 容 | <p>本市からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経緯</li> <li>・事業費の推移及び見通し</li> <li>・他都市の状況</li> <li>・社会福祉審議会の意見具申 等</li> </ul> <p>質疑応答・市民意見の聴取</p> |

# 11 名古屋市鯉城学園における学科教授廃止後の運営体制

| 区 分          | 25年度   | 26年度  |
|--------------|--|---|
| ク ラ ス 数      | 24クラス<br>(各学年12クラス)  | 28クラス<br>(1年生 16クラス<br>2年生 12クラス)   |
| 体 制          | 学科教授 10名   | 学務主任 8名<br>(コーディネーター)   |
| 報 酬<br>(年 額) | 3,993千円  | 3,472千円   |
| 勤 務 時 間      | 8時45分～17時30分   | 8時45分～16時30分  |
| 主な業務内容       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の実施<br/>(1人当たり平均30講座)</li> <li>・外部講師の調整<br/>(1人当たり平均43講座)</li> <li>・カリキュラムの編成及び講座の運営</li> <li>・学生の学園生活全般に関する援助(1人2クラス担当)</li> <li>・学園行事の企画、運営及び学生の支援</li> <li>・学生及び卒業生の地域活動実践のための支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の調整<br/>(1人当たり平均109講座)</li> <li>・カリキュラムの編成及び講座の運営</li> <li>・学生の学園生活全般に関する援助(1人3～4クラス担当)</li> <li>・学園行事の企画、運営及び学生の支援</li> <li>・学生及び卒業生の地域活動実践のための支援</li> </ul> |

注：平成27年度からは32クラス(各学年16クラス)

12 名古屋市鯉城学園「学務主任（コーディネーター）」募集における  
受験資格

次の（１）～（３）の全てに該当する方

（１）昭和３０年４月１日以前に生まれた方

（２）次のいずれかの経験を有する方

① 教育職員免許法に定める普通免許状を有し、学校教育法に定める小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において２０年以上の指導経験を有する方

② 学校教育法に定める大学または高等専門学校において１０年以上学生を教授・指導した経験を有する方

③ 生涯学習または社会福祉に関する企画・運営業務を１０年以上行った経験を有する方

（３）上記（２）の経験において管理業務を行う職の経験を有する方

注：指定管理者（社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会）が実施した平成２７年４月１日採用予定の名古屋市鯉城学園「学務主任（コーディネーター）」募集における受験資格（募集要項からの抜すい）

### 13 医療対応型特別養護老人ホームとハイレベル特別養護老人ホームの比較

#### (1) 医療対応型特別養護老人ホーム

|            |   |
|------------|---|
| <p>特 徴</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養、酸素療法等医療的ケアが必要な要介護者を、より多く受け入れることが可能な施設</li> <li>・介護職員が行うたんの吸引等の研修に必要な実習の場を提供できる施設</li> <li>・地域交流スペースの設置や地域住民への介護技術の講習等、より地域に開かれた施設</li> </ul>   |
| <p>内 容</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険医療機関の併設又は隣接による医師、看護師の厚い体制</li> <li>・看護職員の24時間配置</li> <li>・医療的ケアの必要な方の積極的受け入れ</li> <li>・研修室の設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>かくたん<br/>喀痰吸引等研修</li> <li>市内特別養護老人ホーム向けスキルアップ研修</li> <li>地域向けの家族介護者教室</li> </ul> </li> <li>・地域における積極的な公益活動の実施</li> </ul> |

注：平成27年度予算において1か所、定員100名で平成27～28年度の2か年での整備を予定



(2) ハイレベル特別養護老人ホーム

|        |   |
|--------|---|
| 特<br>徴 | <ul style="list-style-type: none"><li>・経管栄養、酸素療法等医療的ケアが必要な要介護者を、より多く受け入れることが可能な施設</li><li>・介護職員が行うたんの吸引等の研修に必要な実習の場を提供できる施設</li></ul>   |
| 内<br>容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・医師、看護師、一定の研修を受けた介護職員等の手厚い体制</li><li>・診療所の併設等、医療機関との連携が図りやすい施設形態</li><li>・看護師の動線に配慮した医療材料室を各階へ設置</li><li>・入所者情報を端末機により協力医療機関と共有</li></ul> |

注1：平成26年3月17日財政福祉委員会説明資料（追加分）

注2：内容については、横浜市・新潟市における先進施設調査に基づき記載

## 14 中学生の学習サポートモデル事業の経費

### (1) 平成27年度予算

| 区 分      | 金 額    | 内 訳                      |
|----------|--------|--------------------------|
|          | 千円     |                          |
| チーフ人件費   | 16,143 | @8,850 × 1人 × 76回 × 24か所 |
| サポーター人件費 | 28,090 | @3,850 × 4人 × 76回 × 24か所 |
| 教材費      | 456    | @3,800 × 5教科 × 24か所      |
| 施設使用料    | 2,736  | @1,500 × 76回 × 24か所      |
| 一般管理費    | 11,857 | 人件費、教材費、施設使用料合計の25%      |
| 研修費      | 270    | @15,000 × 2回 × 9区        |
| 消費税      | 4,765  |                          |
| 計        | 64,317 |                          |

### (2) 全市拡大(平成28年度見込)

| 区 分      | 金 額    | 内 訳                      |
|----------|--------|--------------------------|
|          | 千円     |                          |
| チーフ人件費   | 24,922 | @8,850 × 1人 × 88回 × 32か所 |
| サポーター人件費 | 43,367 | @3,850 × 4人 × 88回 × 32か所 |
| 教材費      | 608    | @3,800 × 5教科 × 32か所      |
| 施設使用料    | 4,224  | @1,500 × 88回 × 32か所      |
| 一般管理費    | 18,281 | 人件費、教材費、施設使用料合計の25%      |
| 研修費      | 480    | @15,000 × 2回 × 16区       |
| 消費税      | 7,351  |                          |
| 計        | 99,233 |                          |

(参考) 平成27年度ひとり親家庭の中学生の学習サポートモデル事業予算

| 区 分      | 金 額    | 内 訳   |
|----------|--------|---|
|          | 千円     |   |
| チーフ人件費   | 7,647  | 継続 @8,850 × 1人 × 52回 × 4か所<br>新規 @8,850 × 1人 × 41回 × 16か所 |
| サポーター人件費 | 13,305 | 継続 @3,850 × 4人 × 52回 × 4か所<br>新規 @3,850 × 4人 × 41回 × 16か所 |
| 教材費      | 1,037  | @1,800 × 2教科 × 12人 × 24か所                                 |
| 施設使用料    | 4,934  | 継続 @5,710 × 52回 × 4か所<br>新規 @5,710 × 41回 × 16か所           |
| 研修費      | 300    | @15,000 × 1回 × 20か所                                       |
| 一般管理費    | 2,723  | 人件費、教材費、施設使用料、研修費合計の10%                                   |
| 消費税      | 2,395  |   |
| 計        | 32,341 |   |

注：総括学習コーディネート業務委託料として別に4,230千円を計上

## 15 仕事・暮らし自立サポートセンター事業実績

### (1) 相談実績

(平成27年1月末現在)

| 区 分             | 件 数 | 月 平 均 |
|-----------------|-----|-------|
| 電 話 ・ メ ー ル 相 談 | 437 | 72.8  |
| 面 接 相 談         | 226 | 37.7  |
| 継 続 支 援 対 象 者   | 83  | 13.8  |

注1：平成26年7月30日開設

注2：新規相談件数を計上

### (2) 事業の利用状況

(平成27年1月末現在)

| 区 分               | 利 用 者 数 |
|-------------------|---------|
| 自立相談支援モデル事業（就労支援） | 21      |
| 就労準備支援モデル事業       | 17      |
| 家計相談支援モデル事業       | 6       |

16 生活困窮者の自立支援にかかる予算額の内訳

(単位：千円)

| 区 分                       | 金 額     |
|---------------------------|---------|
| 仕事・暮らし自立サポートセンターの運営にかかる経費 | 201,724 |
| 住居確保給付金の支給にかかる経費          | 18,532  |
| 「就労訓練事業の推進」事業の実施にかかる経費    | 6,748   |
| 中間的就労パイロット事業にかかる経費        | 3,960   |
| 嘱託職員の報酬等                  | 7,752   |
| 計                         | 238,716 |

## 17 生活保護扶助費予算の推移及び保護基準額の見直し

### (1) 生活保護扶助費予算の推移

| 区 分                         | 2 6 年 度       | 2 7 年 度       |
|-----------------------------|---------------|---------------|
| 被 保 護 人 員<br>(A)            | 51,000 人      | 51,000 人      |
| 扶 助 費<br>(B)                | 87,874,528 千円 | 87,682,714 千円 |
| 一人当たりの月額扶助費<br>(B/A) × 1/12 | 144 千円        | 143 千円        |

### (2) 保護基準額の見直しに伴う影響

(単位：千円)

| 区 分    | 内 容   | 27年度予算<br>影 響 額 |
|--------|---|-----------------|
| 生活扶助基準 | 年齢・世帯人員・地域差の歪みの調整及び物価の動向を勘案して平成25年8月から3か年にかけて実施 | △309,838        |
| 冬季加算   | 水準の適正化及び世帯人員別・級地別の較差の是正(平成27年11月から)             | △83,155         |
| 住宅扶助基準 | 上限額の適正化及び床面積別の上限額の新設(平成27年7月から)                 | 4,346           |

### (3) モデル世帯(33歳、29歳、4歳)の保護費

(単位：円)

| 区 分              | 2 6 年 度 | 2 7 年 度 |
|------------------|---------|---------|
| 生活扶助費            | 163,860 | 158,380 |
| 冬季加算<br>(11月～3月) | 4,750   | 4,160   |
| 住宅扶助費            | 46,600  | 48,000  |
| 計                | 215,210 | 210,540 |

注：平成27年度は現時点での予定の保護費

18 保健環境委員の予算

(単位：千円)

| 区 分    |         | 26年度    | 27年度                |
|--------|---------|---------|---------------------|
| 名 称    |         | 保健委員    | 保健環境委員              |
| 予 算 額  |         | 256,259 | 212,721             |
| 内<br>訳 | 費用弁償    | 207,248 | 207,248             |
|        | 学区活動助成金 | 44,135  | (45,029)<br>※環境局へ移管 |
|        | 大会経費その他 | 4,876   | 5,473               |

## 19 裁判外紛争解決手続（ADR）における争点及び今後の流れ

### (1) 争点

| 区 分             | 主 な 内 容       |   |
|-----------------|---------------|---|
| 凍結期間中に<br>要した費用 | 陽子線建屋工事<br>関係 | 建設会社の人件費の金額が合理的なものといえるか                                 |
|                 | 建屋設計関係        | 設計会社の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか                            |
|                 | 資金調達関係        | 資金調達会社の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか                          |
|                 | 陽子線装置関係       | 陽子線装置の保管関係費や日立製作所の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか、また合理的なものといえるか |
| 再開に<br>伴う費用     | 陽子線建屋工事<br>関係 | 建設会社の人件費の金額が合理的なものといえるか                                 |
|                 | 建屋設計関係        | 設計会社の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか                            |
|                 | 資金調達関係        | 資金調達会社の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか                          |
|                 | 陽子線装置関係       | 日立製作所の再開準備のための人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか、また、合理的なものといえるか    |
| 工程延長に<br>伴う費用   | 陽子線建屋工事<br>関係 | 一時凍結による工法変更に伴う建屋工事費用の金額が合理的なものといえるか                     |
|                 | 建屋設計関係        | 設計会社の工事監理費用の金額が一時凍結に起因するものといえるか                         |
|                 | 陽子線装置関係       | 引渡しの延期による日立製作所の人件費の金額が一時凍結に起因するものといえるか、また、合理的なものといえるか   |

### (2) 今後の流れ

#### ア 今後見込まれる協議内容

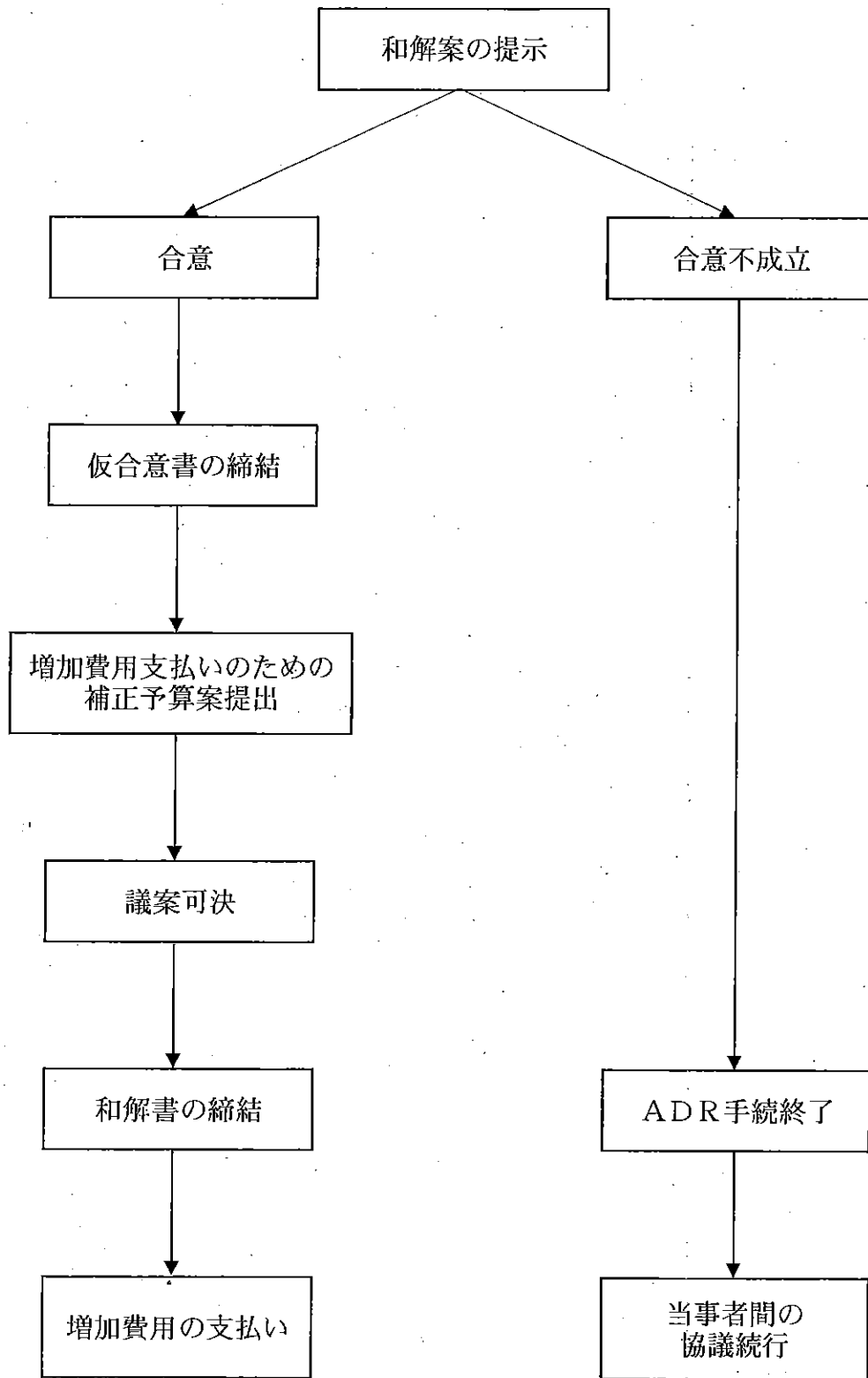
- ・ あっせん人による合意に向けた意見調整
- ・ 和解案の提示

#### イ 次回期日開催予定

- ・ 平成27年4月



20 裁判外紛争解決手続（ADR）における和解案提示後の流れ



## 21 高齢者肺炎球菌予防接種の他都市比較

### (1) 定期予防接種

| 区 分    | 自 己 負 担 額 | 対 象 者   |
|--------|-----------|---|
| 政令指定都市 | 円         |   |
| 名古屋    | 4,000     | ・ 65歳から100歳となる方のうち、5歳刻みの年齢に該当する方<br><br>・ 101歳以上となる方（平成26年度限り）<br><br>・ 60歳以上65歳未満で、一定の障害（心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害）を有する方 |
| 札幌     | 4,400     |   |
| 仙台     | 5,000     |   |
| さいたま   | 4,730     |   |
| 千葉     | 4,700     |   |
| 川崎     | 4,500     |   |
| 横浜     | 3,000     |   |
| 相模原    | 4,000     |   |
| 新潟     | 4,000     |   |
| 静岡     | 4,700     |   |
| 浜松     | 4,500     |   |
| 京都     | 4,000     |   |
| 大阪     | 4,400     |   |
| 堺      | 4,000     |   |
| 神戸     | 4,000     |   |
| 岡山     | 3,610     |   |
| 広島     | 4,700     |   |
| 北九州    | 4,300     |   |
| 福岡     | 4,200     |   |
| 熊本     | 4,600     |   |
| 県内中核市  |           |   |
| 豊橋     | 2,000     |   |
| 岡崎     | 2,000     |   |
| 豊田     | 2,000     |   |

## (2) 任意予防接種

| 区 分    | 自 己 負 担 額             | 対 象 者  |
|--------|-----------------------|--|
| 政令指定都市 | 円                     |  |
| 名古屋    | 4,000                 | ・65歳以上で定期接種対象外の方                             |
| 札幌     | —                     | —  |
| 仙台     | 5,000                 | ・70歳以上で定期接種対象外の方                             |
| さいたま   | —                     | —  |
| 千葉     | 4,700                 | ・75歳以上で定期接種対象外の方<br>・65歳以上で一定の障害のある定期接種対象外の方 |
| 川崎     | —                     | —  |
| 横浜     | —                     | —  |
| 相模原    | —                     | —  |
| 新潟     | —                     | —  |
| 静岡     | —                     | —  |
| 浜松     | 4,500                 | ・定期接種の対象年齢にある2回目の接種の方                        |
| 京都     | —                     | —  |
| 大阪     | —                     | —  |
| 堺      | 4,000                 | ・65歳以上で定期接種対象外の方                             |
| 神戸     | 接種費用のうち、<br>4,000円を助成 | ・70歳以上で一定の障害のある定期接種対象外の方                     |
| 岡山     | —                     | —  |
| 広島     | —                     | —  |
| 北九州    | —                     | —  |
| 福岡     | —                     | —  |
| 熊本     | 4,600                 | ・65歳以上で一定の障害のある定期接種対象外の方                     |
| 県内中核市  |                       |  |
| 豊橋     | —                     | —  |
| 岡崎     | 2,000                 | ・65歳以上で過去5年以内に接種歴の無い方                        |
| 豊田     | —                     | —  |

22 なごやかキャットサポーター数の推移と猫の保護頭数、殺処分頭数、譲渡頭数

(1) なごやかキャットサポーター数の推移

(単位：人)

| 区 分           | 2 5 年 度 | 2 6 年 度 |
|---------------|---------|---------|
| なごやかキャットサポーター | 85      | 144     |

注：平成26年度は平成25年度から平成26年12月末までの累積人数

(2) 猫の保護、殺処分、譲渡頭数

(単位：頭)

| 区 分            | 2 5 年 度 | 2 6 年 度 |
|----------------|---------|---------|
| のら猫が産み捨てた子猫の保護 | 782     | 951     |
| 殺 処 分          | 1,156   | 1,124   |
| 譲 渡            | 320     | 338     |

注：平成26年度は12月末現在

23 国民健康保険1人当たり平均保険料における増減額の内訳

(1) 医療分・後期高齢者支援金分

(単位：円)

| 区 分                        | 増 減 額   |
|----------------------------|---------|
| 医療費の増加等                    | 2, 385  |
| 前期高齢者交付金の増加                | △791    |
| 滞納繰越分保険料収入の<br>充 当 額 の 増 加 | △158    |
| 保険者支援制度の拡充                 | △3, 724 |
| 保険財政共同安定化事業の拡大             | △925    |
| 計                          | △3, 213 |

(2) 介護分

(単位：円)

| 区 分        | 増 減 額   |
|------------|---------|
| 介護納付金の減少等  | △3, 169 |
| 保険者支援制度の拡充 | △914    |
| 計          | △4, 083 |

## 24 国民健康保険1人当たり平均保険料の他都市比較の推移

(単位：円)

| 区 分  | 26年度    | 27年度    |
|------|---------|---------|
| 名古屋  | 91,475  | 88,262  |
| 札幌   | 83,450  | 83,850  |
| 仙台   | 92,612  | 88,864  |
| さいたま | 92,008  | 93,513  |
| 千葉   | 83,551  | 87,051  |
| 川崎   | 97,472  | 96,191  |
| 横浜   | 98,621  | 92,719  |
| 相模原  | 93,820  | 90,870  |
| 新潟   | 87,168  | 87,630  |
| 静岡   | 96,111  | 91,991  |
| 浜松   | 97,086  | 99,913  |
| 京都   | 80,619  | 78,893  |
| 大阪   | 75,081  | 74,661  |
| 堺    | 82,077  | 81,508  |
| 神戸   | 85,505  | 82,497  |
| 岡山   | 90,213  | 88,586  |
| 広島   | 100,881 | 103,888 |
| 北九州  | 72,137  | 69,743  |
| 福岡   | 80,595  | 80,339  |
| 熊本   | 86,771  | 86,048  |

注：保険料は、介護分を除く

## 25 収入階層別国民健康保険料の推移

### (1) 単身世帯（40歳、給与収入）

(単位：円)

| 区 分    | 26年度    | 27年度    | 増減額     |
|--------|---------|---------|---------|
| 収入 0円  | 20,450  | 19,280  | △1,170  |
| 100万円  | 36,690  | 34,510  | △2,180  |
| 200万円  | 183,900 | 169,660 | △14,240 |
| 300万円  | 274,900 | 252,540 | △22,360 |
| 400万円  | 371,100 | 340,160 | △30,940 |
| 500万円  | 475,100 | 434,880 | △40,220 |
| 600万円  | 579,100 | 529,600 | △49,500 |
| 700万円  | 688,300 | 629,050 | △59,250 |
| 800万円  | 783,440 | 735,610 | △47,830 |
| 900万円  | 810,000 | 831,580 | 21,580  |
| 1000万円 | 810,000 | 849,130 | 39,130  |
| 1100万円 | 810,000 | 850,000 | 40,000  |

注：平成27年度の保険料は、試算額

### (2) 4人世帯（40歳夫婦と子2人、世帯主：給与収入）

(単位：円)

| 区 分    | 26年度    | 27年度    | 増減額     |
|--------|---------|---------|---------|
| 収入 0円  | 72,370  | 69,050  | △3,320  |
| 100万円  | 120,630 | 115,100 | △5,530  |
| 200万円  | 120,630 | 115,100 | △5,530  |
| 300万円  | 271,010 | 255,200 | △15,810 |
| 400万円  | 415,460 | 388,860 | △26,600 |
| 500万円  | 519,460 | 483,580 | △35,880 |
| 600万円  | 623,460 | 578,300 | △45,160 |
| 700万円  | 732,660 | 677,760 | △54,900 |
| 800万円  | 810,000 | 784,320 | △25,680 |
| 900万円  | 810,000 | 825,750 | 15,750  |
| 1000万円 | 810,000 | 843,300 | 33,300  |
| 1100万円 | 810,000 | 850,000 | 40,000  |

注：平成27年度の保険料は、試算額

26 国民健康保険保険者支援制度の拡充に伴う一般会計繰入金の影響

(単位：千円)

| 区 分          |         | 26年度      | 27年度      | 増 減       |
|--------------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 保険料減額分（法定繰入） |         | 7,844,568 | 7,588,358 | △ 256,210 |
| 内 訳          | 県費（3/4） | 5,883,426 | 5,691,268 | △ 192,158 |
|              | 市費（1/4） | 1,961,142 | 1,897,090 | △ 64,052  |
| 保険者支援分（法定繰入） |         | 1,797,679 | 4,395,049 | 2,597,370 |
| 内 訳          | 国庫（1/2） | 898,839   | 2,197,524 | 1,298,685 |
|              | 県費（1/4） | 449,419   | 1,098,762 | 649,343   |
|              | 市費（1/4） | 449,421   | 1,098,763 | 649,342   |



## 27 国民健康保険料の法定減額の改正

### (1) 内容

| 区 分     | 基準となる所得          |                |
|---------|------------------|----------------|
|         | 現 行              | 改正後            |
| 7 割 減 額 | 33万円             |                |
| 5 割 減 額 | 33万円+24.5万円×加入者数 | 33万円+26万円×加入者数 |
| 2 割 減 額 | 33万円+45万円×加入者数   | 33万円+47万円×加入者数 |

### (2) 世帯数

(単位：世帯)

| 区 分     | 現 行     | 改正後     | 増 減    |
|---------|---------|---------|--------|
| 7 割 減 額 | 104,000 |         | —      |
| 5 割 減 額 | 35,800  | 37,500  | +1,700 |
| 2 割 減 額 | 33,500  | 34,300  | +800   |
| 計       | 173,300 | 175,800 | +2,500 |

注：平成27年度予算における世帯数の見込

28 国民健康保険料の法定減額及び減免（特別軽減）にかかる適用  
 件数の推移

(単位：件)

| 区 分  | 25年度    | 26年度    |
|------|---------|---------|
| 法定減額 | 185,621 | 198,947 |
| 特別軽減 | 38,735  | 39,452  |

注1：25年度は、年度末時点の適用件数

注2：26年度は、12月末時点の適用件数

注3：件数は延べ適用件数

保険料の軽減制度について

あなたの世帯は、下記①の減免の要件に該当しています。



区役所または支所へ申請していただく、保険料額を安くすることができます。名古屋市国民健康保険では、保険料負担を軽減するため、さまざまな減免制度を設けています。詳しくは、以下の「保険料の減免」をご確認ください。

※すでに申請済みの場合は、再度申請していただく必要はございません。

保険料の減免

減免を受けるには、納期限（最後の納付月の末日）までにお住まいの区の区役所保険年金課保険係または支所区民福祉課保険係へ申請をしてください。

【世帯単位（世帯主と被保険者全員）で判定する減免制度】

| 減免の要件   | 減免される額                    | 申請に必要なもの                           |
|---|---------------------------|------------------------------------|
| ①「保険料の減額（※）」に該当している世帯<br>※詳しくは裏面の「保険料の減額」をご覧ください。                 | 被保険者1人につき<br>年間2,000円     | ・保険証                               |
| ②「保険料の減額」が適用されていない世帯で、平成26年中の所得の合計が「66万円+(35万円×被保険者数)」以下の世帯       | 均等割額の2割                   | ・保険証                               |
| ③平成26年中の所得が1,000万円以下の世帯で、今年の見込所得が264万円以下かつ平成26年中の所得の8/10以下に減少した世帯 | 所得割額の3割から7割               | ・世帯主と被保険者全員の今年の収入がわかる資料(給与明細、帳簿など) |
| ④事業を休業したことにより、世帯の今年の見込所得が赤字となる世帯                                  | 保険料額の7割                   | ・保険証                               |
| ⑤災害により、居住する家屋に全壊(全焼)、半壊(半焼)、床上浸水の被害を受けた世帯                         | 災害発生月から6か月以内の保険料額的全額または5割 | ・り災証明書または被災証明書<br>・保険証             |

【個人単位で判定する減免制度】

| 減免の要件   | 減免される額                  | 申請に必要なもの                         |
|---|-------------------------|----------------------------------|
| ⑥平成26年12月31日現在、障害者の方(身体障害者手帳の交付を受けている方等)、または、寡婦・寡夫の方のうち、次のいずれかに該当する方<br>・当該被保険者の平成26年中の所得が125万円以下である。<br>・「保険料の減額」のうち、「均等割額の2割の減額」が適用されている世帯に属している。 | 当該被保険者の均等割額の3割          | ・障害者の方は障害がわかるもの(障害者手帳など)<br>・保険証 |
| ⑦平成26年12月31日現在、65歳以上の方のうち、次のいずれかに該当する方<br>・当該被保険者の平成26年中の所得が35万円以下である。<br>・「保険料の減額」のうち、「均等割額の2割の減額」が適用されている世帯に属している。                                |                         | ・保険証                             |
| ⑧刑務所等に入っているため、月初めから月末を通して医療の給付が受けられない方  | 当該被保険者のその間の保険料額         | ・拘留期間などの証明書<br>・保険証              |
| ⑨被用者保険の被保険者が後期高齢者医療制度の適用を受けることに伴い、その被扶養者が国民健康保険の被保険者資格を取得する場合で、国民健康保険の資格取得時に65歳以上である方   | 当該被保険者の均等割額の5割及び所得割額の全部 | ・被用者保険の喪失証明書<br>・保険証             |

裏面に続きます。

注：表面のみを掲載

## 30 国民健康保険料の減免にかかる規定

### (1) 名古屋市国民健康保険条例

#### (保険料の減免)

第22条 市長は、世帯主又は当該世帯に属する被保険者について、被災、老齢その他の規則で定める事由があるときは、規則で定めるところにより保険料を減免することができる。

2 前項の規定により、保険料の減免を受けようとする者は、納期限（特別徴収に係る保険料の減免については、準用介護保険法第135条第3項に規定する特別徴収対象年金給付の支払の日）までに、次に掲げる事項を記載した申請書に、減免を受けようとする理由を証明すべき書類を添付して、市長に提出しなければならない。ただし、規則で定める場合は、この限りでない。

- (1) 氏名及び住所
- (2) 年度、納期限及び保険料の額
- (3) 減免を受けようとする理由

3 前項の申請により、保険料の減免を受けた者は、その理由が消滅した場合においては、ただちに、その旨を市長に届け出なければならない。

### (2) 名古屋市国民健康保険条例施行細則

#### (保険料の減免)

第19条 世帯主又は被保険者について、次の表の左欄に掲げる事由があるときは、保険料の額について同表の右欄に掲げる額を減免する。ただし、同表1の項及び5の項左欄の事由に該当するとき又は同表2の項及び3の項左欄の事由に該当するときは、それぞれ当該各項のうち、減免額が最も大きくなる項にのみ該当するものとして当該規定を適用する。

(略)

2 条例第22条第2項に規定する申請書は、保険料減免申請書とし、区長に提出するものとする。

3 } (略)  
4 }

#### 附 則

第13条 条例第19条の2の規定の適用がある世帯の当該年度分の保険料については、当分の間、世帯主が納付すべき保険料の額（第19条の規定の適用があるときは、その適用後の保険料の額）から、2,000円に当該世帯に属する被保険者のうち条例第13条の均等割額を課される者の数を乗じて得た額を減額する。ただし、保険料の賦課期日後に納付義務の発生若しくは消滅又は当該世帯に属する被保険者数の異動等があった場合においては、条例第19条の規定の例により月割をもって算定した額を減額する。

注：「条例第19条の2の規定の適用がある世帯」は、法定減額適用世帯

## 31 国民健康保険平均保険料の区別の推移

(単位：円)

| 区 分 | 24年度   | 25年度   |
|-----|--------|--------|
| 千 種 | 96,184 | 96,147 |
| 東   | 94,141 | 94,875 |
| 北   | 85,389 | 85,941 |
| 西   | 91,309 | 92,447 |
| 中 村 | 86,105 | 87,685 |
| 中   | 87,494 | 85,472 |
| 昭 和 | 94,789 | 95,993 |
| 瑞 穂 | 97,234 | 98,280 |
| 熱 田 | 90,612 | 91,263 |
| 中 川 | 85,911 | 87,206 |
| 港   | 83,882 | 84,372 |
| 南   | 86,970 | 87,749 |
| 守 山 | 89,307 | 90,093 |
| 緑   | 95,649 | 97,068 |
| 名 東 | 95,592 | 95,860 |
| 天 白 | 95,716 | 96,260 |
| 全 市 | 90,522 | 91,262 |

注：保険料は、現年賦課分（介護分を除く）

## 32 国民健康保険料滞納世帯数の区別の推移

(各年度末現在)

| 区 分 | 24年度                | 25年度                |
|-----|---------------------|---------------------|
| 千 種 | 4,043 <sup>世帯</sup> | 3,657 <sup>世帯</sup> |
| 東   | 2,850               | 2,579               |
| 北   | 4,738               | 4,173               |
| 西   | 4,048               | 3,742               |
| 中 村 | 5,243               | 4,869               |
| 中   | 6,622               | 6,358               |
| 昭 和 | 2,299               | 2,142               |
| 瑞 穂 | 1,863               | 1,620               |
| 熱 田 | 1,337               | 1,199               |
| 中 川 | 6,498               | 5,983               |
| 港   | 5,291               | 4,642               |
| 南   | 3,779               | 3,159               |
| 守 山 | 3,549               | 3,381               |
| 緑   | 3,513               | 3,151               |
| 名 東 | 3,368               | 3,069               |
| 天 白 | 3,524               | 3,190               |
| 計   | 62,565              | 56,914              |

注：滞納世帯数は、国民健康保険の資格を喪失した世帯を含む。

33 国民健康保険短期被保険者証の交付件数の区別の推移

(各年度12月末現在)

| 区 分 | 25年度   | 26年度   |
|-----|--------|--------|
| 千 種 | 943 件  | 803 件  |
| 東   | 769    | 645    |
| 北   | 1,201  | 963    |
| 西   | 1,085  | 914    |
| 中 村 | 1,278  | 1,095  |
| 中   | 1,273  | 1,012  |
| 昭 和 | 685    | 551    |
| 瑞 穂 | 545    | 431    |
| 熱 田 | 356    | 348    |
| 中 川 | 1,566  | 1,408  |
| 港   | 1,612  | 1,333  |
| 南   | 866    | 712    |
| 守 山 | 1,082  | 924    |
| 緑   | 934    | 792    |
| 名 東 | 1,105  | 967    |
| 天 白 | 1,034  | 847    |
| 計   | 16,334 | 13,745 |

## 34 国民健康保険資格証明書の交付件数の区別の推移

(各年度12月末現在)

| 区 分 | 25年度  | 26年度  |
|-----|-------|-------|
| 千 種 | 222 件 | 214 件 |
| 東   | 97    | 112   |
| 北   | 475   | 320   |
| 西   | 266   | 289   |
| 中 村 | 392   | 370   |
| 中   | 288   | 324   |
| 昭 和 | 77    | 81    |
| 瑞 穂 | 80    | 76    |
| 熱 田 | 70    | 59    |
| 中 川 | 540   | 436   |
| 港   | 372   | 371   |
| 南   | 257   | 239   |
| 守 山 | 201   | 202   |
| 緑   | 204   | 198   |
| 名 東 | 274   | 331   |
| 天 白 | 140   | 122   |
| 計   | 3,955 | 3,744 |



## 35 国民健康保険料滞納による差押件数の区別の推移

(各年度12月末現在)

| 区 分 | 25年度  | 26年度  |
|-----|-------|-------|
| 千 種 | 176 件 | 259 件 |
| 東   | 80    | 105   |
| 北   | 54    | 117   |
| 西   | 202   | 159   |
| 中 村 | 124   | 114   |
| 中   | 147   | 277   |
| 昭 和 | 99    | 101   |
| 瑞 穂 | 112   | 93    |
| 熱 田 | 104   | 47    |
| 中 川 | 273   | 134   |
| 港   | 286   | 315   |
| 南   | 168   | 134   |
| 守 山 | 88    | 216   |
| 緑   | 235   | 177   |
| 名 東 | 125   | 125   |
| 天 白 | 101   | 102   |
| 計   | 2,374 | 2,475 |

36 国民健康保険における主な医療費適正化事業の実績

(単位：件)

| 区 分                    | 事 業 内 容  | 開始年度 | 事 業 実 績 |         |
|------------------------|--|------|---------|---------|
|                        |  |      | 25年度    | 26年度    |
| ジェネリック<br>医薬品の普及<br>促進 | ジェネリック医薬品希望シールの郵送<br>(保険証更新時に同封)                       | 21年度 | 305,279 | 303,628 |
|                        | 500円以上の自己負担軽減が見込まれる方に対して、差額通知を送付                       | 22年度 | 25,726  | 30,637  |
|                        | (参考) ジェネリック医薬品シェア                                      |      | (46.7%) | (52.1%) |
| 重症化予防事業                | 前年度特定健診結果が要医療域にありながら、治療を受けていない方に対して、今年度の健診受診の勧奨通知を送付など | 24年度 | 70      | 1,127   |
| 重複受診者への<br>勧奨          | 複数の医療機関から同一時期に同一の医薬品を処方されている方に対して、適正受診に関する勧奨通知を送付      | 25年度 | 64      | 53      |

注：平成26年度の事業実績については平成27年1月末時点の件数  
ただし、ジェネリック医薬品シェアについては平成26年12月末時点

37 介護保険料段階別月額と比較

| 段階  | 対象者                                       | 第6期<br>(27年度)                         | 第5期<br>(26年度)        |
|-----|---|---------------------------------------|----------------------|
| 第1  | 生活保護等を受けている方<br>老齢福祉年金受給者で世帯全員が市町村民税非課税の方 | 2,358円<br>(基準額×0.4)                   | 2,448円<br>(基準額×0.45) |
| 第2  | 世帯全員が市町村民税非課税                             | 公的年金等の収入金額と合計所得金額の合計が80万円以下の方         | 2,358円<br>(基準額×0.4)  |
| 第3  |   | 公的年金等の収入金額と合計所得金額の合計が80万円を超え120万円以下の方 | 3,831円<br>(基準額×0.65) |
| 第4  |   | 公的年金等の収入金額と合計所得金額の合計が120万円を超える方       | 4,421円<br>(基準額×0.75) |
| 第5  |   | 公的年金等の収入金額と合計所得金額の合計が80万円以下の方         | 5,010円<br>(基準額×0.85) |
| 第6  | 本市町村民税課税<br>同じ世帯に市町村民税あり                  | 公的年金等の収入金額と合計所得金額の合計が80万円を超える方        | 5,894円<br>(基準額)      |
| 第7  |   | 合計所得金額が80万円未満の方                       | 6,189円<br>(基準額×1.05) |
| 第8  |   | 合計所得金額が80万円以上125万円未満の方                | 6,484円<br>(基準額×1.1)  |
| 第9  |   | 合計所得金額が125万円以上200万円未満の方               | 7,368円<br>(基準額×1.25) |
| 第10 |   | 合計所得金額が200万円以上290万円未満の方               | 8,841円<br>(基準額×1.5)  |
| 第11 |   | 合計所得金額が290万円以上400万円未満の方               | 10,020円<br>(基準額×1.7) |
| 第12 |   | 合計所得金額が400万円以上540万円未満の方               | 11,199円<br>(基準額×1.9) |
| 第13 |   | 合計所得金額が540万円以上700万円未満の方               | 12,378円<br>(基準額×2.1) |
| 第14 |   | 合計所得金額が700万円以上1,000万円未満の方             | 13,556円<br>(基準額×2.3) |
| 第15 | 合計所得金額が1,000万円以上の方                        | 14,735円<br>(基準額×2.5)                  |                      |

38 第6期介護保険料基準月額その他都市比較

(1) 政令指定都市

| 区    | 分 | 保険料基準月額 |
|------|---|---------|
|      |   | 円       |
| 名古屋  | 屋 | 5,894   |
| 札幌   | 幌 | 5,177   |
| 仙台   | 台 | 5,493   |
| さいたま | ま | 5,263   |
| 千葉   | 葉 | 5,150   |
| 川崎   | 崎 | 5,540   |
| 横浜   | 浜 | 5,990   |
| 相模原  | 原 | 5,375   |
| 新潟   | 潟 | 6,175   |
| 静岡   | 岡 | 5,267   |
| 浜松   | 松 | 5,200   |
| 京都   | 都 | 6,080   |
| 大阪   | 阪 | 6,758   |
|      | 堺 | 6,128   |
| 神戸   | 戸 | 5,729   |
| 岡山   | 山 | 6,160   |
| 広島   | 島 | 5,868   |
| 北九州  | 州 | 5,700   |
| 福岡   | 岡 | 5,771   |
| 熊本   | 本 | 5,700   |

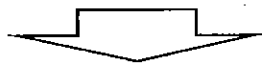
(2) 愛知県内中核市

| 区  | 分 | 保険料基準月額 |
|----|---|---------|
|    |   | 円       |
| 岡崎 | 崎 | 4,770   |

注：公表に同意を得られた都市のみ記載

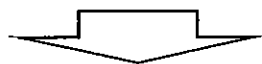
### 39 第6期介護保険料の算定内訳

|            |        |
|------------|--------|
| 第5期基準額（月額） | 5,440円 |
|------------|--------|



#### 第5期から第6期の改定内訳

| 区 分   | パブリック<br>コメント段階 | 予 算 案 |
|---|-----------------|-------|
| 第6期の保険給付費見込等<br>・要介護認定者数の増加に伴う増<br>・施設・居住系サービスの整備に伴う増 等 | +407円           | +471円 |
| 第1号被保険者負担率の変更<br>・21%→22%                               | +262円           | +267円 |
| 介護報酬等の改定  | +178円           | △37円  |
| 一定以上所得者への2割負担の導入  | △47円            | △50円  |
| 名古屋市介護給付費準備基金の取崩し                                       | △78円            | △92円  |
| 保険料段階の細分化及び保険料率<br>の見直し                                 | △192円           | △87円  |
| 第1号保険料の収納率向上  | △18円            | △18円  |
| 計   | +512円           | +454円 |



|            |        |
|------------|--------|
| 第6期基準額（月額） | 5,894円 |
|------------|--------|

40 国からの第6期介護保険料の設定にあたっての留意事項に関する  
事務連絡（抜すい）

事 務 連 絡

平成27年1月16日

各都道府県介護保険担当課（室） 御中

厚生労働省老健局介護保険計画課

低所得者の第1号保険料軽減強化に係る来年度の対応について（その3）

（中略）

今回の制度改正で公費を投入して低所得者の保険料軽減を行う仕組みを導入し、低所得者の保険料軽減に要する費用を一般会計から特別会計に繰り入れ、国・都道府県が一定割合を負担することとなるが、新法第124条の2に基づき、政令で定めるところにより負担を行うものである。

政令により制度化された仕組みの枠外で、低所得者の保険料軽減に要する費用を一般財源から特別会計に繰り入れることは適当ではなく、ご質問のような差分の独自補填はできない。

また、一定の所得段階に該当する者に対して一律に減免を行うことは、当該者に対して所得に応じた段階別保険料設定による応分の負担を求めているにも関わらず、これに加えて、他の第1号被保険者の保険料を財源とした減免を一律に行うこととなり、公平性の確保の観点から適当ではない。

なお、ご質問の事例以外の保険料の減免（いわゆる単独減免）についても、被保険者間の公平性の確保や、健全な介護保険財政の運営と財政規律の保持の観点から、従前からお示ししてきており、

- ・ 保険料の全額免除
- ・ 収入のみに着目した一律減免
- ・ 保険料減免分に対する一般財源の投入

については適当ではないため、引き続きこのいわゆる3原則の遵守に関し、各保険者において適切に対応していただきたい。

## 41 地方自治法第245条及び第245条の3（抜すい）

### （関与の意義）

第二百四十五条 本章において「普通地方公共団体に対する国又は都道府県の関与」とは、普通地方公共団体の事務の処理に関し、国の行政機関（内閣府設置法（平成十一年法律第八十九号）第四条第三項に規定する事務をつかさどる機関たる内閣府、宮内庁、同法第四十九条第一項若しくは第二項に規定する機関、国家行政組織法（昭和二十三年法律第二百十号）第三条第二項に規定する機関、法律の規定に基づき内閣の所轄の下に置かれる機関又はこれらに置かれる機関をいう。以下本章において同じ。）又は都道府県の機関が行う次に掲げる行為（普通地方公共団体はその固有の資格において当該行為の名あて人となるものに限り、国又は都道府県の普通地方公共団体に対する支出金の交付及び返還に係るものを除く。）をいう。

#### 一 普通地方公共団体に対する次に掲げる行為

イ 助言又は勧告

ロ 資料の提出の要求

ハ 是正の要求（普通地方公共団体の事務の処理が法令の規定に違反しているとき又は著しく適正を欠き、かつ、明らかに公益を害しているときに当該普通地方公共団体に対して行われる当該違反の是正又は改善のため必要な措置を講ずべきことの求めであつて、当該求めを受けた普通地方公共団体はその違反の是正又は改善のため必要な措置を講じなければならないものをいう。）

ニ 同意

ホ 許可、認可又は承認

ヘ 指示

ト 代執行（普通地方公共団体の事務の処理が法令の規定に違反しているとき又は当該普通地方公共団体はその事務の処理を怠つているときに、その是正のための措置を当該普通地方公共団体に代わつて行うことをいう。）

（以下略）

### （関与の基本原則）

第二百四十五条の三 国は、普通地方公共団体が、その事務の処理に関し、普通地方公共団体に対する国又は都道府県の関与を受け、又は要することとする場合には、その目的を達成するために必要な最小限度のものとするとともに、普通地方公共団体の自主性及び自立性に配慮しなければならない。

（以下略）

## 42 保険給付費等の算定にかかる報酬改定等の影響

### (1) 報酬改定等の内容

- ・全体  $\Delta 2.27\%$
- ・地域区分変更  $+1.5\%$
- ・消費増税の影響（29年度のみ）  $+0.41\%$

### (2) 第6期計画期間における保険給付費等への影響額

(単位：千円)

| 区 分     | 保険給付費等     | 報酬改定等の影響        |                    |
|---------|------------|-----------------|--------------------|
| 保険給付費   | 在宅サービス     | 269,973,129     | $\Delta 1,719,500$ |
|         | 地域密着型サービス  | 66,813,997      | $\Delta 408,015$   |
|         | 施設サービス     | 129,313,206     | $\Delta 820,050$   |
|         | その他サービス    | 28,617,936      | $\Delta 180,066$   |
|         | 特別給付       | 1,108,276       | —                  |
|         | 審査支払手数料    | 314,421         | —                  |
|         | 計          | 496,140,965     | $\Delta 3,127,631$ |
| 地域支援事業費 | 23,346,968 | $\Delta 49,286$ |                    |

### (再掲) 主なサービスにおける影響額

(単位：千円)

| 区 分      | 保険給付費等     | 報酬改定等の影響         |
|----------|------------|------------------|
| 訪問介護     | 65,898,335 | $\Delta 417,833$ |
| 通所介護     | 59,391,410 | $\Delta 392,484$ |
| 介護老人福祉施設 | 64,197,334 | $\Delta 404,682$ |
| 介護老人保健施設 | 61,643,634 | $\Delta 391,030$ |



### 43 国の介護保険制度改正による利用者への主な影響

#### (1) 利用者負担割合の見直し

| 区 分            | 内 容  |
|----------------|--|
| 対 象 者          | 以下の要件を全て満たす方<br>ア 第1号被保険者<br>イ 合計所得金額が160万円以上<br>ウ 同一世帯の第1号被保険者の年金収入とその他の合計所得金額の合計が単身で280万円以上、2人以上で346万円以上 |
| 負 担 割 合        | 1割→2割  |
| 27年度<br>対象見込者数 | 約12,100人   |
| 比 率            | 14.1%  |

注：比率はサービス利用者のうち、対象者の占める割合

#### (2) 高額介護サービス費の負担限度額の見直し

| 区 分            | 内 容   |
|----------------|---|
| 対 象 者          | 以下の要件を全て満たす方<br>ア 同一世帯に課税所得145万円以上の第1号被保険者がいる<br>イ 同一世帯の第1号被保険者の収入の合計が単身で383万円以上、2人以上で520万円以上 |
| 負 担 限 度 額      | 37,200円→44,400円   |
| 27年度<br>対象見込者数 | 約2,800人   |
| 比 率            | 3.3%  |

注1：比率はサービス利用者のうち、対象者の占める割合

注2：高額介護サービス費は、一月における同一世帯での介護保険の利用者負担の合計が、一定の限度額を超えたときに申請により支給されるもの

44 介護職員に対するこれまでの主な処遇改善の経緯

| 区 分      | 内 容  |
|----------|--|
| 平成21年 4月 | 介護職員の処遇改善について、平成20年10月30日に、国において「介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策」として、平成21年度介護報酬改定率を+3.0%とすることが決定  |
| 平成21年10月 | 介護職員の処遇改善に取り組む事業者に対する支援として、平成21年10月から平成23年度末までの間、介護職員処遇改善交付金を創設  |
| 平成24年 4月 | 介護報酬改定において+1.2%の改定が行なわれ、介護職員処遇改善交付金相当分を介護報酬に円滑に移行するための例外的かつ経過的な取り扱いとして、平成26年度末までの間、介護職員処遇改善加算を創設   |
| 平成27年 4月 | 介護報酬全体では、△2.27%の改定率となったが、介護職員処遇改善加算の充実のために改定率+1.65%分の介護報酬を確保し、現行の加算の仕組みは維持しつつ、更なる資質向上の取組、雇用管理の改善、労働環境の改善の取組を進める事業所を対象とし、上乘せ評価を行うための区分を創設 |

#### 45 介護職員の給与水準の推移

(単位：円)

| 区 分   | 2 4 年 度       | 2 5 年 度       |
|-------|---------------|---------------|
| 全 国   | 1 9 3 , 2 5 3 | 1 9 4 , 7 0 9 |
| 愛 知 県 | 2 1 0 , 4 1 7 | 2 1 4 , 0 6 8 |

注1：金額は介護職員の所定内賃金（月給の者）の平均賃金（月額）

※所定内賃金とは、決まって支給される賃金額で、役職手当等の各種手当、交通費等毎月決まって支給される金額を含む。

注2：平成24・25年度介護労働実態調査結果による

## 46 ナゴヤ版介護予防複合プログラム導入準備の概要

### (1) プログラムの概要

| 区 分           | 内 容  |
|---------------|--|
| 目 的           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症予防を含め、運動・口腔・栄養等の介護予防に資するプログラムを複合的に組み合わせ、予防の効果をより一層高める。</li> <li>・ 当該プログラムへの参加を通じて介護予防の理解を促し、自主活動への参加促進を図る。</li> <li>・ 当該プログラムを「介護予防・日常生活総合事業（新しい総合事業）」の指針として位置づける。</li> </ul>  |
| 対 象 者         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要支援認定者</li> <li>・ 基本チェックリストの基準に該当した方</li> </ul>   |
| 実 施 回 数 等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね「週1回、3か月」を1クールとし、原則2クール実施</li> <li>・ 約2時間/回</li> </ul>  |
| プ ロ グ ラ ム 内 容 | <p>次のような内容を複合的に組み込んだプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステップ台の運動をしながら数を数える等、頭を使った運動（脳賦活運動）</li> <li>・ 舌の体操や発声練習等による口腔機能向上のための取り組み</li> <li>・ 栄養学習や調理実習等を内容とした栄養改善のための取り組み</li> <li>・ 生活状況の確認や生活目標の設定等による生活意欲向上のための取り組み</li> <li>・ 個々の体力や栄養、認知機能に関する指標についてのアセスメント</li> </ul> |

(2) 導入準備の概要

| 区 分   | 内 容   |
|-------|---|
| 趣 旨   | <p>当該プログラムを新しい総合事業の指針として位置づけていることから、実施手順の確認と検証を行う等、平成28年6月からの開始に向けた準備を行う。</p>   |
| 内 容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各区福祉会館における「わくわく通所事業」を活用し、クラス単位に1クールをモデル的に実施</li> <li>・モデル実施の結果を、学識経験者等で構成する検討会に提示し、必要に応じてプログラム内容の修正等を検討</li> </ul>                        |
| 予 算 額 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム策定検討会の開催 191千円</li> <li>・マニュアル等プログラム媒体の作成 1,425千円</li> <li>・事業者に向けた研修の開催 99千円</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 1,715千円</p> |

## 47 地域力の再生による生活支援推進事業の実施状況と今後の展開

### (1) 実施状況

#### ア 活動実績

| 区 分               | 25年度            | 26年度            |
|-------------------|-----------------|-----------------|
| ボランティア活動<br>実参加者数 | 人<br>2,181      | 人<br>2,671      |
| ボランティア活動<br>延参加者数 | 人<br>49,712     | 人<br>42,121     |
| ポイント付与数           | ポイント<br>124,868 | ポイント<br>107,266 |

注1：平成25年度は「シルバーパワーを活用した地域力再生事業」として実施

注2：平成26年度は平成26年12月末現在

#### イ 実施学区

| 区 分 | 20年度から実施 |     | 23年度から実施 |    |    | 26年度から実施 |     |     |
|-----|----------|-----|----------|----|----|----------|-----|-----|
| 東   | 山吹       | 明倫  | 葵        | —  | —  | 筒井       | —   | —   |
| 西   | —        | —   | 城西       | 榎  | 山田 | 浮野       | —   | —   |
| 中 村 | —        | —   | 日吉       | 八社 | 豊臣 | 則武       | —   | —   |
| 昭 和 | —        | —   | 白金       | 松栄 | 滝川 | 川原       | —   | —   |
| 瑞 穂 | —        | —   | 御劔       | 高田 | 穂波 | 堀田       | —   | —   |
| 熱 田 | —        | —   | —        | —  | —  | 白鳥       | 船方  | 大宝  |
| 中 川 | —        | —   | —        | —  | —  | 常磐       | 千音寺 | 昭和橋 |
| 港   | 大手       | 西福田 | 正保       | —  | —  | 神宮寺      | —   | —   |
| 南   | 明治       | 道徳  | 伝馬       | —  | —  | 白水       | —   | —   |
| 守 山 | —        | —   | —        | —  | —  | 本地丘      | 吉根  | 白沢  |
| 緑   | —        | —   | —        | —  | —  | 鳴子       | 長根台 | 戸笠  |
| 天 白 | 表山       | 高坂  | 山根       | —  | —  | しまだ      | —   | —   |

### (2) 今後の展開

| 区 分     | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------|------|------|------|------|
| 実 施 区   | 12   | 12   | 16   | 16   |
| 実 施 学 区 | 50   | 56   | 80   | 108  |

注1：平成27年度～平成29年度は「第6期名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」による

注2：平成30年度は「名古屋市総合計画2018」による

48 各実施主体における生活支援の主な取り組み内容

| 区 分                      | 主 な 取 組 み 内 容   |
|--------------------------|---|
| 地 域 団 体                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動</li> <li>・見守り活動</li> <li>・ふれあい給食活動</li> <li>・地域力の再生による生活支援推進事業</li> </ul>                       |
| N P O ・<br>民 間 事 業 者     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動</li> <li>・見守り活動</li> <li>・配食サービス</li> <li>・外出支援・移動サービス</li> <li>・介護保険制度外の家事・生活援助サービス</li> </ul> |
| 協 同 組 合                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービス</li> <li>・移動販売サービス</li> <li>・家事支援サービス</li> </ul>   |
| ボ ラ ン テ ィ ア ・<br>任 意 団 体 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動</li> <li>・配食ボランティア活動</li> <li>・傾聴ボランティア活動</li> </ul>  |

注：平成25年12月～平成26年2月に実施した「生活支援サービスの状況調査」による

